



= 今月の特集 =



たんだ新聞

たんだ新聞編集部
〒270-1147
我孫子市若松26-4
我孫子市民図書館

この夏、 図書館が おすすめする本を 学年別に しよいかいします。

1ねんせいから6年生におすす
めする本を、ドドーンと
紹介します。図書館の特集コ
ーナーに学年ごとに並べてあ
るので、すぐにさがせるよ。
見つからないときには、図書
館の人にきいてね。



みなさんの家にいちばん近い図書館はどこかな？

次のたんだ新聞は12月1日号です。

2 ねんせいにおすすめの本



「うできき
四人きょうだい」
グリム / 著
フェリクス・ホフマン / 画
寺岡寿子 / 訳
福音館書店
(M)EAホ

いちばん上のいさんは、だれにも気づかれないうちに、ものをぬすみ出すドロボウ。二ばんめのいさんは、どんなとおくのものでも見つけられる星のぞき。三ばんめのいさんは、てっぽうの名人。いちばん下のおとうとは、こわれたものを、キズひとつのこさずに、なおすことができます。四人はだれがいちばんすぐれているか、うでくらべをすることにしました。

「おばあさんのひこうき」

佐藤さとる / 作

村上勉 / え 小峰書店(1サ)

いなかの小さなまちに、おばあさんが一人すんでいました。おばあさんは、あみもの名人でした。ところが、そんなおばあさんにもあみずらい毛いとがありました。あんでるそばから、ふわふわとんでしまう

のです。そこでおばあさんは、この毛いとをつかって、ひこうきをあんでみようとおもいます。できあがった毛いとのはひこうきは、とぶのでしょうか？



- 「かおるのたからもの」 (あかね書房)
- 「こんにちはバネッサ」 (岩崎書店)
- 「なぞなぞのすきな女の子」 (学習研究社)
- 「くまの子ウーフ」 (ポプラ社)
- 「詩のランドセル2ねん」 (らくだ出版)
- 「なぞなぞあそびうた」 (のら書店)
- 「あたまをつかった小さなおばあさん」 (福音館書店)
- 「ジエインのもうふ」 (偕成社)
- 「番ねずみのヤカちゃん」 (福音館書店)
- 「きかんしゃ1414」 (偕成社)

1 ねんせいにおすすめのほん

- 「ザリーのこけももつみ」 (福音館書店)
- 「ふたりはともだち」 (文化出版局)
- 「おおきくなりすぎたくま」 (ほるぷ出版)
- 「エルマーのぼうけん」 (福音館書店)
- 「スーホの白い馬」 (福音館書店)
- 「詩のランドセル1ねん」 (らくだ出版)
- 「だんたのたんけん」 (学習研究社)
- 「みしのたくかにと」 (こぐま社)
- 「ろくべえまってるよ」 (文研出版)
- 「ジオジオのパンやさん」 (あかね書房)



「がちょうのペチューニア」
ロジャー・デュボアザン / 作
まつおかきょうこ / 訳
富山房 (EAデ)

がちょうのペチューニアは、さんぼのとちゅうで、ほんをひろいました。「ほんをもっていると、どんどんかしくなる」としんじたペチューニアは、どんなときもほんをもちあるきました。そして、じぶんはうんとかしいのだとおもいこんで、ほかのどうぶつたちのそうだんにのったのですが…。

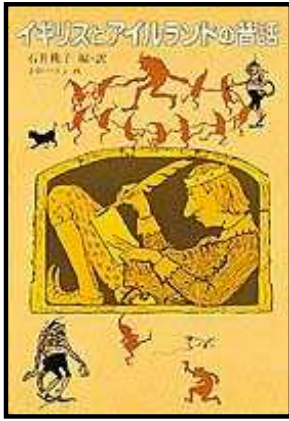
「うさぎのみみは
なぜながい」
メキシコの民話

北川民次 / 作
福音館書店((M)EAキ)

とおいむかしのおはなし。うさぎがかみさまに、じぶんをもりいちばんのおおきないきものにして下さいとたのみます。するとかみさまは、とらと、わしと、さるのかわをもってきたら、かなえてやるとやくそくします。うさぎはうまくやるのでしょうか？



4年生におすすめの本



「イギリスとアイルランドの昔話」

石井桃子 / 編・訳
J・D・バトン / 画

福音館書店 (M) 2 イ

ある晩おそく、おさんばさんのグーディーばあさんは、みにくいやぶにらみの男にたのまれて、男のおくと赤んぼうの世話をすることになりました。赤んぼうの目にぬりぐすりをつける

ようにたのまれたばあさんは、なんのぐすりか知りたくて、自分のまぶたにもつけてみます。すると、ばあさんの目にうつったものは…。(「妖精のぬりぐすり」より) みんなも知ってる「ジャックと豆の木」や「三びきの子ブタ」など、イギリスとアイルランドで伝えられてきた、たくさんのむかし話が出てくるよ。

「みどりのゆび」

モーリス・ドリュオン / 作
安東次男 / 訳
岩波書店 (2 D)

チトは、やさしくて勇氣のある少年でした。チトはあらそいごとがきらいでした。ある日、戦争のことを知ったチトは、戦争に反対したいと思いました。



- 「キミールと探偵たち」 (岩波書店 2 イ)
- 「旅の絵本」 (福音館書店 EA ア)
- 「だれも知らない小さな国」 (講談社 1 サ)
- 「長くつたのシュ」 (岩波書店 2 リ)
- 「小さい魔女」 (学習研究社 2 ブ)
- 「ゆづかん女の子ラモーナ」 (学習研究社 2 ク)
- 「てんぷらびりびり」 (大日本図書 911 マ)
- 「百まいのドレス」 (岩波書店 2 イ)
- 「ものいつなべ」 (岩波書店 (M) 2 オ)
- 「じつばあそびつた」 (福音館書店 911 タ)

3年生におすすめの本

- 「大どろぼうのホツエンプロッツ」 (偕成社)
- 「火ようびのこちそうはひきがえる」 (評論社)
- 「目をさませトラゴロウ」 (理論社)
- 「いっぽんの鉛筆のむこうに」 (福音館書店 EM タ)
- 「かぎのない箱」 (岩波書店 (M) 2 オ)
- 「黒い島のひみつ」 (福音館書店 EA エ)
- 「おばけのトツカビ」 (太平出版社 (M) 2 チ)
- 「ミリー・モリー・マンデーのおはなし」 (福音館書店)
- 「ぼくは王さま」 (理論社)
- 「ふしぎな500のぼうし」 (偕成社 EA ド)

「きかんぼうの

ちいちゃいもうと」
ドロシー・エドワーズ / さく
渡辺茂男 / やく
堀内誠一 / え

福音館書店 (2 エ) (絶版)

きかんぼうのちいちゃいもうとは、とても気むずかしくて、いうことを聞かないこともたびたびです。川に魚をとりに行ったときも、「水の中に入ってはだめ」と言われていたのに、びしょびしょの、ずぶぬれになったんですよ。



「ぼくは王さま」
寺村輝夫 / 作 和
田誠 / 絵
理論社 (1 テ)

あるところに、玉子やきが大ききで、あそぶのが大ききで、ときどきウソつきで、ちゅうしゃのきれいな王さまがいました。ある日、王さまの、思いついたことは…?



6年生におすすめの本



「子どもべやのおばけ」
 カーリー・ゼーフェルト / 作
 倉沢幹彦 / 共訳
 本田雅也 / 共訳
 前田浩志 / 絵
 徳間書店(2ゼ)

ユッタは新しく引っ越してきた家で、おばけのフローリアンと、友達になりました。妹のイーミと弟のベンノーもすぐに仲良くなりました。フローリアンは500年前に、この家でなくなった子どものゆうれいでしたが、自分では、天国に行けませんでした。子どもたちは、フローリアンをたすけられるでしょうか？

「^{さばく}砂漠の虫の水さがし」
 (たくさんのふしぎ傑作集)
 山口進 / 写真・文
 福音館書店(E Mタ)

昼はやけるような暑さ、夜はこごえるような寒さの砂漠。でも、こんなかくな所でも、住んでいる動物や虫がいるのです。生きるために必要な水を得るな工夫をしています。そんな虫たちのすがたを見ると、砂漠の持つ「やさしさ」のようなものも、見えてくる気がします。



「グリーンノウのお客さま」
 「死の川とたたかう」
 「肥後の石工」
 「ムギと王様」
 「チャイコフスキー クリンへの帰る旅人」
 「風と木の歌」
 「床下の小人たち」
 「グロテディアの秘密」
 「ハヤ号セイ川をいく」
 「冒険者たち」

評論社(2-ホ)
 偕成社(493)
 岩波書店(1-1)
 岩波書店(2-7)
 ファイジョン / 作(2-7)
 リブリオ出版(289チ)
 偕成社(1-7)
 岩波書店(2-1)
 岩波書店(2-1)
 岩波書店(2-カ)
 岩波書店(2-ビ)
 岩波書店(1-サ)

5年生におすすめの本

「がんばれヘンリーくん」
 「大草原の小さな家」
 「太陽の東 月の西」
 「ふたりのロツテ」
 「ライオンと魔女」
 「ハンカチの上の花畑」
 「ブナの森は緑のダム」
 「魔法使いのチョコレートケーキ」
 「モグラ原っぱのなかまたち」
 「名探偵カッレくん」

学習研究社(2-ク)
 福音館書店(2-ワ)
 岩波書店(M)(2-タ)
 岩波書店(2-ケ)
 岩波書店(2-ル)
 あかね書房(1-ア)
 あかね書房(653)
 福音館書店(2-マ)
 あかね書房(1-7)
 岩波書店(2-リ)

「八郎」
 齋藤隆介 / 作
 滝平二郎 / 画
 福音館書店(E Aタ)

八郎は、からだも頭もでっかいが、心のやさしい山男だった。ある日、海があれて村の田んぼが波におそわれた。八郎は、大きな山をかついできて、海の中になげこんだ。波をしずめるためだ。しかし、波のいきおいはとめられない。そこで八郎は、波をしずめるために、みずから海の中に入っていくのだった。



「霧のむこうのふしぎな町」
 柏葉幸子 / 作
 竹川功三郎 / 絵
 講談社(1-カ)(杉田比呂美 / 絵の新装版あり)

水玉もようのかさを追いかけるうちに、リナは、霧につつまれたふしぎな町にまよいこみました。そこには、クリーム色の家が6つありました。

